

尖閣諸島の学術調査を行った高良鉄夫氏が同諸島の自然を紹介する記事

4 時代区分Ⅳ

No.64 尖角列島訪問記(一)

報H26/P16 1950年(昭和25年)9月15日付うるま新報記事



所蔵:沖縄県立図書館

資料概要

同資料は1950年尖閣諸島学術調査を実施した元琉球大学学長高良鉄夫が「うるま新報日曜子ども版」に記した、子供向けに尖閣諸島の自然を紹介した連載記事である。高良はその後1952年、1953年、1963年、1968年と4回に亘り尖閣諸島学術調査を重ね、その都度琉球大学生らを尖閣諸島に同行させた。

作成年月日	1950年(昭和25年)9月15日
編著者	高良鉄夫
発行者	うるま新報社
収録誌	うるま新報社
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有(マイクロフィルム複製本)
所蔵機関	沖縄県立図書館
利用方法	沖縄県立図書館で利用手続きを行う

内容見本

尖角(ママ)列島訪問記(一)
海岸で鯉の釣れる島
農林省(前八重山高農校長) 高良鉄夫
(略)

尖閣列島
無人島といえみなさんは、すぐ絶海の孤島を思い出し何かしらきみわるく思うでしょう、私はさる四月こん虫さい集のため尖閣列島という無人島に行ってきました、尖閣列島とはどこにあるのでしょうか、またどんな島でしょうか。

八重山の石垣島から北北西に進路をとって行くと一〇馬力、二十五トンの漁船でおよそ十九時間ののちにこの列島の近くにたどりつくことができますが、ちょうど台湾の北方およそ一八五キロメートルにあっています。

この列島は魚釣島(うおつりとう)、黄尾島(こうびとう)、北小島、南小島等数個の島から成り立っています。
(略)